

23. マジかぞく食堂！瀬戸まち空家再生プロジェクト

記録：星大輝

場 所：蔵所長屋(瀬戸市蔵所町 67)

参加対象：だれでも OK

参加費：子ども（高校生以下）200 円、大人 500 円

スタッフ：篠瀬 美保さん 主婦 昔瀬戸にあるタネカフェで働いていた。調理経験あり
斧内 弥生さん 千種の中学高校で美術を教えている。妊婦さん。他 2 人

参加日時：2017 年 1 月 28 日（土）10:00～15:00

参加人数：子ども 4 人 大人 4 人

献 立：ワヒージョ(和風アヒージョ)、味噌汁、にゅうめん、ヤーコンのきんぴら、
サラダ

参加者：星大輝

みーんな大家族をキーワードに食べる！美味しいことはいいこと！みーんなひとつに繋がってる命。皆が家族みたいに安心して集まれるバシヨを目指す『MAJI かぞく食堂』

◎きっかけ

篠瀬さん

元々空き家再生プロジェクトをやっており、空き家を使って何か出来ないかと考えていた時にテレビで子ども食堂をみたことがきっかけ。空き家再生プロジェクトのメンバーから有志を募り子ども食堂を始めた。

斧内さん

夕方のテレビニュースで東京の子ども食堂が取り上げられていて、いいなと思った。自分自身隣人とあいさつ、交流がなくなってきた。みんなで一緒にご飯を食べるのが素敵だと感じた。隣人さん同士顔を知っているだけで迷惑をかけても多少許される、お互い様と思える関係が素敵だと感じ、大家族みたいな関係を自分の周りで作りたい。お母さんの負担を少しでも減らしたい。親子に楽しくご飯を食べさせてあげたい。負担が減ることでお母さんも楽しくなると思う。お母さんが楽しいと子どもも幸せになるとおもう。食べることを義務にしたくない。

◎場所、設備

瀬戸市にある空き家を 1 時間 500 円で借りて利用している。同じ空き家を、作るスクールというフリースクールと共同で使っており、調理器具、カセットコンロ、テーブル、イス、などほとんどのものを作るスクールに借りている。ガスはなく、電気・水道のみ。火はカセットコンロを使う。カセットコンロのガスボンベ代が高くて不便。電気は、30w まででたくさん同時に使うとすぐにとんでしまう。駐車場が無いので、近くにある瀬戸蔵（1 時間まで無料。それ以降は、60 分ごとに 100 円かかる）に停める人が多い。トイレも古いので気になる人は、瀬戸蔵のトイレを使ってもらおう。食器はスタッフの知り合いからの寄付。瀬戸な

だけあって瀬戸焼の食器が多い。また、足りないものは Facebook で寄付を頼めばだいたい集まる。

◎資金

スタッフ 4 人で初回に 1 人 2000 円ずつ出し合った。毎回の活動でも参加費と同じように 500 円出している。助成金はもらっておらず、市民団体にして助成金をもらおうとも思ったが、市としがらみができるのはしんどそうなのでやめた。

◎食材、献立

食材には困っていない。瀬戸にある、「道の駅しなの」から野菜と果物を中心に大量に寄付してもらっている。お肉、たまご、豆腐、調味料は購入している。スタッフ、参加者共に食材を持ってこれる人は持参し、当日に食材が分かるので、献立はあるもので考える。おてらおやつクラブからも寄付があり、1 月 28 日のにゅうめんもおてらおやつクラブから寄付していただいた。

◎宣伝

チラシと Facebook を利用している。チラシは、斧内さんが作っており、それを近所のお店や施設に貼ってもらったり、第 2、4 金曜日の月 2 回、中日ホームニュースに挟んでもらっている。最近では、Facebook よりもチラシをみて来てくれる人の方が多い。1 月 28 日も近所のますだもち（おもち屋さん）に貼ってあったチラシをみて来たという人がいた。

◎課題、悩み

子ども食堂を求めている人とどうつながるか。宣伝の仕方。開催場所の近所に子ども達が少なくて人が来ないため、場所を公民館に移そうか迷っている。2 月いっぱい空き家を一緒に使っている作るスクールさんがいなくなり、器具がすべてなくなってしまう。買ったとしても置いておく場所がないので毎回持ち運びをしなければならず、どうすべきか悩んでいる。毎回の参加人数が分からない。

◎感想

場所がとても分かりづらく、たどり着くのに苦労した。参加者は少なかったが、賑やかでアットホームな感じでとても雰囲気良かった。スタッフさんが子ども食堂シンポジウムなどにも参加していて多少他の子ども食堂さんとも交流があるように感じられた。

